



佐賀県

宇宙ビジネス創出イベント



月と地球のデュアルライフ シンポジウム

第1～3部
入場無料

第4部の交流会
のみ有料

期日 令和8年8月24日(月) 受付/12:00～ 開場/12:30～

場所 和多屋別荘 SHINZO (佐賀県嬉野市嬉野町下宿乙738)

内容 シンポジウム/13:00～17:30 (100名程度) 交流会/18:00～20:00 (有料)

※シンポジウムへの参加お申し込みは右記の二次元コードのリンク先からお願いします。



[主催] 佐賀県
[TEL] 0952-25-7541

[問い合わせ] さが政策推進チーム
[Mail] digital-innovation@pref.saga.lg.jp

本イベントは、企業の皆さまの新たな宇宙ビジネス創出のきっかけづくりを目的としたイベントです。
チラシ表面の二次元コードからお申し込みいただけますので、ぜひご参加ください。

タイムスケジュール

第1部 13:10～14:20

テーマ「宇宙開発の最前線」

〈基調講演1〉

白坂 成功氏（慶應義塾大学大学院）

演題:宇宙ビジネスのつくりかた

～あらゆる企業が参加できる宇宙産業時代の到来～

〈基調講演2〉

祖父江 真一氏（JAXA 宇宙航空研究開発機構）

演題:月を知ることは地球を知ること

第2部 14:30～15:30

テーマ「フードテックが変える
宇宙食と未来の食文化」

〈パネルディスカッション〉

田中 宏隆氏（株式会社UnlocX 代表取締役CEO）

菊池 優太氏（JAXA新事業促進部企画調整課 課長）

坪山 宜代氏（宇都宮大学 客員教授）

浅野 高光氏（株式会社Space Food Lab. 取締役）

二宮 大記氏

（味の素株式会社 食品研究所 コンシューマーフーズ開発センター長）

第3部 15:40～16:50

テーマ「宇宙生活×地域OS

”佐賀から考える宇宙の暮らし”」

〈基調講演3〉

野中 朋美氏（早稲田大学創造理工学部）

演題:月と地球をつなぐ暮らしのデザイン

～住環境・食・健康・サービスから考える
宇宙QOLと地域資源の可能性～

〈シンポジウム〉

ファシリテータ:野中 朋美氏（早稲田大学）

登壇者:白坂 成功氏（慶應義塾大学）、祖父江 真一氏（JAXA）、

菊池 優太氏（JAXA）、

小原 嘉元氏（和多屋別荘）、

田中 宏隆氏（UnlocX）他

第4部 18:00～20:00

〈交流会/主催 和多屋別荘〉

会費:1人 8,000円

場所:和多屋別荘 SHINZO

登壇者プロフィール



慶應義塾大学大学院
白坂 成功氏

東京大学大学院卒。三菱電機(株)を経て現職（慶應義塾大学大学院SDM研究科教授）。2023年10月よりSDM研究科委員長就任。専門分野は大規模システム開発、技術・社会融合システムのイノベーション創出方法論やシステムズエンジニアリング。



JAXA 宇宙航空研究開発機構
祖父江 真一氏

1989年宇宙開発事業団入社。地球観測センター、SELENE(がくや)、ALOS-2(だいち2号)等を経て、2025年度より宇宙利用運用センターシニアアドバイザー(現職)。衛星データ処理に関する研究に従事。



株式会社UnlocX 代表取締役CEO
田中 宏隆氏

パナソニックを経て、McKinsey&Companyにてハイテク・通信業界を中心に8年間に渡り、成長戦略立案・実行、M&A、新事業開発、ベンチャー協業などに従事。17年シグママックスに参画しグローバルフードテックサミット「SKS JAPAN」を立上げ。食に関わる事業開発伴走、コミュニティづくりに取り組む中で、食のエコシステムづくりを目指し2023年10月株式会社UnlocX創設。



早稲田大学創造理工学部
野中 朋美氏

専門は生産システム工学、サービス工学。博士(システムエンジニアリング学)。持続可能なビジネス・社会システムデザイン、人間中心ECLSS・宇宙QOL研究等に従事。JAXA 宇宙戦略基金SX-CRANE研究代表者。



JAXA新事業促進部企画調整課 課長
菊池 優太氏



宇都宮大学 客員教授
坪山 宜代氏



株式会社Space Food Lab. 取締役
浅野 高光氏



味の素株式会社 食品研究所 コンシューマーフーズ開発センター長
二宮 大記氏



第3部オンライン登壇者
永松 愛子氏(JAXA)